

日野町のスポーツ振興に関する提案書

令和3年11月

日野町スポーツ協会

趣旨

誰もが健康で生きがいを持って心豊かに暮らしていくためにスポーツが果たす役割は大きく、スポーツを通じた住民の健康づくりや活気あるまちづくりに向け取り組むことは重要です。

このたび、日野町のさらなるスポーツの振興、発展を目指して、当協会理事や関係団体からの提案を受け、議論を重ねて次のとおり提案書として取りまとめました。

つきましては、今後の施策を進めるに当たって、提案内容について前向きに検討されますようお願いいたします。

1. ランニング・ウォーキングコースの整備について

(1) 現状と課題

ランニングやウォーキングは道具も不要で誰もが簡単に始めることができることから、町内でも年齢を問わず多くの方が取り組まれている運動の一つです。

近隣の東近江市総合運動公園や甲賀市水口スポーツの森などでは、夜間も公園内がライトアップされ、日中だけでなく、仕事帰りや夕食後の時間を活用して幅広い年齢層の方がランニング等で利用され、安全にスポーツを楽しむ交流を図られています。また、日野町在住の利用者も一定見られるところです。

一方、町内では大谷公園が類似施設となりますが、ランニング等のコースが設定されておらず、外周道路の路面も劣化し、照明も十分でないことから安全に利用することができない状況です。

(2) 改善策と効果

大谷公園の外周道路の路面を整備し、ランニング等のコースを設定するとともに照明を設置することで、夜間であっても安全に安心して時間を有効に活用しながらスポーツに取り組むことができるようになり、健康増進に寄与するものと考えます。

また、日頃から多くの住民が集う場となることでスポーツを通じた交流が活発化し、活気あるまちづくりにつながるものと期待できます。

加えて、松尾公園のウォーキングコースのように町内各地にウォーキングコース等を設定することで、より多くの住民が身近な場所で気軽にスポーツに親しむことが可能となります。

2. 大谷公園の施設整備・機能強化について

(1) 現状と課題

大谷公園には体育館や野球場、テニスコートなどの施設がありますが、特定の競技やイベント等を行うための貸出施設となっており、予約の人以外ほとんど利用が無く、子育て世代の遊び場や高齢者等の散歩の場など、気軽に利用できる施設になっていません。

また、施設は貸出が中心で、住民を対象としたイベントの企画や実施をする機能が無いため、町を代表するスポーツ拠点であるにもかかわらず、住民の認知度や期待度が低い状況です。

(2) 改善策と効果

例えば、芝生エリアや遊具など子育て世代が過ごせる場の整備、ベンチや東屋など憩いの場の設置、オリンピックで話題となったスケートボード場やストリートバスケットコート等若い世代の利用が期待できる施設など、予約に限定されず気軽に利用できる施設整備を行うことで、これまでより幅広い利用の増加が見込め、世代間の交流や仲間づくりにつながることを期待できます。

また、公園主催のスポーツイベント等を企画運営することにより、同公園が持つ機能をより有効に活用し、住民が集いスポーツに親しむ場を創出することで、町のスポーツ拠点としての魅力を向上し、施設の価値を高めることにつながります。

3. プールのあり方について

(1) 現状と課題

大谷公園のプールは、子どもから大人まで多くの方が利用され、長年にわたって住民の体力向上や健康増進に寄与してきた施設ですが、老朽化により休館となり、教室利用や一般遊泳などができない状況が長期にわたっています。

プールを使った運動は、子どもの生育発達から高齢者の健康維持まで、その効果が広く認められていることから、町民の多くが近隣市町の施設を利用している状況です。

(2) 改善策と効果

大谷公園のプールについて、住民の声を聴く中で、近隣施設の状況を参考に今後の方向性を早急に決定することが必要です。

プールを修繕整備する場合は、温水プール化することで年間を通じて利用が可能となり、利用者の増加が見込めます。また移動が伴うものの、学校の授業に季節を問わず利用することも可能となり、学校のプールの整備や維持管理が不要となるとともに、専門のインストラクターを活用することで正しい泳法の指導など、教員の負担軽減も期待できます。

4. スポーツ施設等の芝生化について

(1) 現状と課題

松尾公園については、改修工事により芝生エリアが整備され、安全かつ快適に利用できることから子育て世代を中心に多くの方が利用される施設となりましたが、その他の公園やスポーツ施設は土のグラウンドや広場で利用される方が少ない状況です。

(2) 改善策と効果

各施設に芝生エリアを整備することで、子育て世帯をはじめとした多くの方が安全で快適に過ごすことができる施設となり、子どもたちの外遊びやスポーツ活動の促進、高齢者をはじめ地域の人々の交流の場としての機能が期待できます。

また、学校のグラウンドについても芝生化により、児童生徒の転倒等による怪我の防止や温暖化への対策、砂塵の防止などの効果が図れ、近隣市町でも導入が進んでいます。

芝生化に当たっては、JAF（日本サッカー協会）の「ポット苗方式芝生化モデル事業」を活用するなどコストを抑えて実施することが可能となります。

5. その他の提案

(1) スポーツ情報の発信について

大谷公園、日野川ダム公園、内池公園、松尾公園、町内各学校施設開放など、町内にはスポーツを楽しむ施設がたくさんありますが全体的に利用者が限られている状況です。こうした既存の施設を有効に活用できるよう住民に広く周知するとともに、気軽に利用できるよう利用方法の提案や利用基準の見直しなどの検討が必要です。

(2) スポーツ団体への支援について

当町では多くの競技スポーツ団体が組織され、スポーツ協会の構成団体として活動していますが、会員の減少等により各団体の弱体化が進んでおり、競技力の低下はもとより住民全体のスポーツ振興への影響が懸念されます。

また、学校のクラブ活動の地域移行が進められるに当たり、指導者の育成・確保が不可欠となることから競技団体の存在は今後ますます重要となります。

そのため、各団体への支援体制を構築するとともに、町民への情報発信や町内の学校との交流促進など、各団体が活躍し様々な競技に触れる機会を提供することが必要です。

(3) レスリングを町のシンボルスポーツに

日野町出身のレスリング選手が全国大会や世界大会で活躍し、町民に元気を与えるとともに町の誇りを醸成するなど、まちづくりに大きく貢献しています。また、同競技については、日野高校を拠点に幼児期から高校生まで継続した指導行われ、他のスポーツの模範となるような指導・育成体制が確立されています。

同競技を日野町のシンボルスポーツに位置づけ、有名選手の招聘や町外有力選手の招致、ふるさと納税制度を活用した支援等、特徴的な取組で強力に支援することで、町の魅力を広く全国に発信につながるものと考えます。また、町の誇りとして共通のスポーツを応援することで住民の心を繋ぎ、スポーツ振興だけでなく、まちの一体感を醸成しまちづくりにも大きく寄与することが期待できます。

さらには、日野高校が拠点の一つなることで、同校の特色や魅力を高めることにつながるものと考えます。

(4) 近隣市町のスポーツ施設との連携について

大谷公園のプールが使用停止をはじめ、町内のスポーツ施設の機能や整備の状況から町外の施設を利用されスポーツに取り組まれる住民が少なからずおられるのが現状です。

スポーツ施設については施設整備や維持管理に多額の経費負担がかかることもあり、近隣市町の施設と連携し、町民の利用者への割引や補助制度の創設などの検討も必要と考えます。

令和3年11月4日

日野町スポーツ協会
会長 西河正樹